

鹿児島県介護支援専門員協議会令和4年度第2回理事会 要旨

○日時:令和4年10月15日(土)13時30分～14時45分

○場所:Web開催

開催挨拶 会長 来仙先生

今年の介護支援専門員実務試験とウクライナ情勢等の影響にて光熱費の高騰などを踏まえて介護支援専門員について話される。

◎報告事項

1.会員状況

県内 9/30まで1,616名。現在は1,722名 来年度も現代議員数確保したい。

※南薩支部164名(うち退会3名) 現状は161名である。

2.下半期スケジュール

予定表あり。5/2/25 九州・沖縄ブロック会議あり。会長と古城ブロック理事 専門課程II 更新者630名(5会場)

3.第17回九州・沖縄ブロック研修大会 in 佐賀及びブロック会議報告(古城理事)

① ブロック研修のあり方 負担金のこと(国、ブロック、支部の負担割合)で議論された。特に負担金についてはコロナ関係で研修が中止もあったことより。

② 日本協会 九州・沖縄ブロック研修大会(以下 事務局)

来年度は佐賀県開催 開催時期が決まっていない。早急の日程調整が必要と思われる。

③ 情報収集システム 回収率は全国49% 鹿児島県73% 登録数を増やしたい。・・負担なく協力できるが、メールをしっかりと見ることが大切か。阿久根は協力要請が来たらすぐに対応できるようにしている。(内容は無理のない内容である。)

※ケアマネ個人業務実態調査依頼がある。この時期は報告時期であり、大変な時期であるが、事務局が実態調査については三菱財団委託にて実施3か所事業所に依頼した。

④ 介護人材の賃金状況

介護支援専門員は平均年齢50歳 勤続年数9年 賞与込み32.1万

介護職員 処遇改善等 平均43.8歳 勤続7年 28.5万

※介護職員の処遇改善は取り組んでいるが、介護支援専門員の処遇改善など・・

⑤研修会の開催

介護支援専門員生涯学習体系指導者研修など日本協会で開催している。県ホームページなどで情報発信している。メールマガジン登録して情報収集、確認するように。

- 4.その他 日本介護支援専門員連盟との関係での情報ないのか。
会長よりケアプラン有料化は避けられない方向で進んでいる。

◎協議事項

1.介護支援専門員生涯学習体系について(別紙資料参照)

初任者研修からスキルアップ研修①～⑤の課程がある。

鹿児島県から岩下理事 古城理事の推薦と新地会長の推薦する。

⇒岩下理事は自分で考えて収録した。50～60分 古城理事はこれからである。

会長⇒現状を聞くにあたり、各自に任されており、体系化が不十分 担当者の負担が大きく、報酬なども検討すべきできないか。

2.主任介護支援専門員研修(事務局 岩下理事)

当初はオンライン研修実施予定であったが、主任介護支援専門員になるための研修会であり、スーパービジョンの観点より集合研修を行うことにした。参加者はオンラインでの参加を予定していたため、旅費 日程などの変更が生じるが、必要で重要なところであるためそのような研修体制にする。(昨年もそのようなことを強調されていたが、昨年はオンライン実施)

3.第2回研修会

11/19(土)10時～11時30分 虐待防止のパラドックス

来週研修案内予定

※柴口会長 沖永良部・与論 12月来訪予定 協議会でサポート

記録)南薩支部 阿久根 一信(4/10/15)